

## 平成28年11月の思いやり通信



太陽光発電、夜明けはいつ 新設より既設、ゆがむ市場

### バブル崩壊、パネル国内出荷前年割れ

- ・2015年度の太陽光パネル国内出荷量は8年ぶりに前年割れ。今年4~6月期でも前年同期比26%減。
- ・電力の需給バランスが崩れ、買取価格も下落し撤退組も出てきました。
- ・ずさんな事業計画が尾を引き稼働しない案件が多い太陽光発電。メガソーラーに限れば約8割が動いていません。
- ・国内の太陽光市場は2014年度まで右肩上がり。
- ・電気を流す送電網への負荷が深刻な問題となり、電力会社の買い取り契約の保留へ。
- ・2016年度の買い取り価格は、1キロワット時あたり24円（出力10キロワット以上）と、2012年度より4割下がりました。
- ・2015年度の太陽光パネル国内出荷量は前年度比23%減。  
(2016年10月8日 日本経済新聞記事から抜粋)

